

令和7年度 島根県立横田高等学校 学校評価

奥出雲町唯一の高等学校として、生徒・保護者のニーズおよび地域の期待に応え、地域から信頼される魅力ある学校づくりを推進する。

重点目標	分掌・学年部の目標	評価指標（アンケート結果） 肯定的評価割合（%）（昨年度→今年度）	自己評価及び改善策	学校運営協議会評価・意見
人権教育の推進 思いやりの心の涵養	○人権意識の高揚 (生徒・1年・2年・3年) ○自他を大切にす心の醸成 (生徒・1年・2年・3年) ○安全安心な環境づくり (生徒)	「人権の保障、安全・安心な学校・学級」 生徒 (92→90) 保護者 (89→91) 教職員 (93→87)	【生徒部】人権学習LHR・講演会、情報モラル講演会など計画的に実施することができた。 【生徒部】保護者の数値は改善したが、生徒の数値がやや低くなっている部分は、生徒の学校生活への評価として受けとめたい。 *LHRや講演会で学んだことが、生徒の日常においても、振り返られ、意識されるように、意図的に言葉がけや指導を行ってきたい。 【1年部】本年度の人権教育では、生徒の実態に応じた教材やワークを活用し、多様な視点の認識を通じて多角的な人権意識を育むことができた。今後、この学びを行動指針として定着・深化させるための継続的な指導に注力していく。 【2年部】生徒と関わるすべての場を人権教育の機会と捉える。自己の言動が他者や周囲に及ぼす影響を想像する力を育み、適切なコミュニケーションをとれるよう継続的に指導する。 【3年部】いじりなどの人権課題に向けて組織的に対応するよう努めた。学年会で共有を密にして、全体指導やクラス指導、個人面談など順を追って組織的に行動する。	・人権教育については引き続き継続して実施していただきたい。
	○いじめの未然防止・早期発見・解決 (生徒)	「生徒への人権的配慮」 教職員 (96→87)		
	○教育相談の充実 (生徒)	「教育相談の充実」 生徒 (92→93) 保護者 (77→89) 教職員 (96→87)	【生徒部】定期的に相談窓口の情報を提示PRしたこと、また、学年部・担任を中心とした保護者さんとの綿密な面談等の結果で、保護者さんの数値が伸びたのではと考える。 *今後も担任だけでなく、気軽に相談していただける相談の窓口等、積極的にPR・丁寧な対応を行ってきたい。	・生徒や保護者さんと丁寧に対応していただき感謝している。
	○規律ある態度の育成 (生徒・1年・2年・3年)	「ふるまい、身だしなみ」 生徒 (97→94) 保護者 (94→95)	【生徒部】ほとんどの生徒が清潔感のある身だしなみで、挨拶等の振る舞い向上に努めている。 *今年度は服装頭髪指導を学期に1回行った。身だしなみについて、全体指導だけでなく個々に指導していく場面を生徒部を中心にしていく。 【1・2年部】服装や頭髪など目立った校則違反もなく、良識ある態度で落ち着いた学校生活を送ることができたと思われる。 【3年部】教員の共通理解のもとで一貫した指導を行う。	・今年度も安定し落ち着いた学校生活を送ることができていた。
キャリア教育の推進 学力の伸張 自己実現の支援	○基本的な生活習慣の確立 (生徒・1年・2年・3年) ○学習習慣の確立 (教務・1年・2年・3年)	「計画的日常生活習慣の育成」 教職員 (88→83) 「基本的生活習慣及び学習習慣確立」 生徒 (74→74) 保護者 (73→73) 『平日学習時間目標』 R7(4月) [9月] [11月] 60分以上 90%以上 (73%) [52%] [47%] 120分以上 50%以上 (25%) [18%] [11%]	【教務部】生活時間調査については新システムを構築し教員の負担軽減を図ることができるようになった。しかし、その使用方法について徹底できず、データの欠落を生むことになってしまった。 平日学習時間目標は特に一年生で大きく例年を割り込むことになっており、来年度立て直しを図る。 【生徒部】今年度は、スマホ安全教室ということで講演をしてもらったが、来年度に向けては継続的に、生活習慣を見直す契機を提供していきたい。 【1年部】生徒・保護者の評価が伸び悩んでおり、家庭でのメディア利用時間の増加や具体的な学習目標の設定・実行可能な計画の立案がなされていないことが課題だと思われる。生活時間調査に基づき、スマホ等の利用状況を可視化させるとともに、面談を通じて生徒が自律的に計画を遂行できる力を育成していく。 【2年部】メディアバランスのとれた生活が送れるよう、継続的に指導する。面談等を通じて進路実現を意識させながら学習時間の確保について働きかける。 【3年部】学習時間調査結果などを有効活用し、個人面談を細やかに行う。	・学習時間調査の結果については、スマホなどの使用の仕方や生活時間調査などを通じて、担任の先生を中心に面談しアドバイスをしていくことが学習時間の増加につながっていくのではないかと。
知性や感性の醸成	○自主的な学習の機会の創出 (魅力化)	「授業への生徒の取り組み」 生徒 (98→94) 「授業の充実度」 生徒 (88→91) 保護者 (82→90) 「教員の学力伸長力」 教職員 (92→87) <生徒による授業評価R7.7月実施→R7.12月実施> 「生徒自身の学習への主体的な取り組み」 (96→95) 「教員の授業の進め方」 (88→90)	【教務部】Google Workspace・schoolTaktとも利用促進のための説明会を行うべきであった。次年度に向け、AIの利用促進も含め機会を作りたい。 【魅力化】今年度は1年生対象に「やまのおろち伝説」を題材にした教科横断型授業も1日展開した。来年度は普段からの授業デーを学年会と連携して展開したい。 【1年部】授業充実度は生徒・保護者ともに改善された。今後は、生徒自身が学習を調整し、計画の立案から実行までを主体的に担うことで、個々の学力が着実に向上する支援体制を構築してしていく。 【3年部】全体として学習習慣の確立があまりできていなかったが、授業や新聞記事を読むことなど、学校における学習活動は積極的に取り組む姿勢があった。生活習慣、学習習慣の確立については、常に意識をさせておく必要がある。	・地域のことを材料とした教科横断型授業に参加させていただいた。このような取り組みは非常にすばらしいので引き続き実施してほしい。
地域や社会の未来をけん引することができる人材の育成	○「総合的な探究の時間」の充実 (魅力化・1年・2年・3年) ○地域活動の充実 (魅力化)	「地域の魅力・課題の理解」 生徒 (86→83) 「自発的な学習と協働」 生徒 (92→84) 「主体的姿勢の育成」 教職員 (96→87)	【魅力化】来年度は評価指標いずれもが90%以上を目指し、各学年の「奥出雲学」の内容をより充実させたい。地域活動について：地域活動デーについて各地区の公民館から好意的なご意見をいただいた。来年度は実施に際して、事前事後の学習を図り、生徒の地域活動にしたという意識を高めたい。 【1年部】「総合的な探究の時間」を通じ、多様な人材やSTEAM教育に触れる機会を設け、生徒の知的好奇心を喚起できた。本格的な探究の開始にあたり、今後は魅力化推進部と密に連携し、地域課題を軸とした探究サイクルの定着と深化を図っていく。 【2年部】探究活動をさらに深化させられるよう、魅力化推進部と連携しながら進めていく。	・1年生を中心に国際交流、STEAM教育、教科横断型授業などをとおして深い学びにつながってよかった。地域活動デーは好評で来年も継続していただきたい。
	○就職指導の充実 ・職業観の育成 (進路・1年・2年・3年) ○進学指導の充実 (進路・1年・2年・3年)	「進路指導の充実」 生徒 (95→93) 保護者 (86→88) 教職員 (100→100) 「進路について考えたか」 生徒 (92→92) (1年91→86、2年92→90、3年100→98)	【進路】生徒の希望進路について、全教員周知のもと面接指導等進路指導を行う体制をつくる。模試成績報告・分析を行い、共通テスト対応策を各教科で検討する。課題研究が入試に活用できるよう指導する。 【1年部】進路ガイダンスや面談を通じて、生徒一人ひとりの志望に寄り添った支援ができた。今後は生徒の進路実現に向け、具体的な学習習慣の定着を含め支援していく。 【2年部】インターンシップなどの活動を進路実現につなげていく。 【3年部】早めの準備、対策に努めたため、ほぼ全ての生徒の進路実現が叶った。自らの進路志望実現のために何が必要かを早めに意識させ、進路に向けた行動（職場見学、面接対策、小論文対策、共通・2次試験対策）を促す。	・今年度はインターンシップに多くの生徒さんが来ていただき地域も喜んでくれる。就職者も昨年よりも大幅に伸びてありがたい。国公立17名以外に私立大学もおっているのぜひ生徒をほめていただきたい。
	○環境整備の推進 (事務・総務・魅力化)	「施設設備の充実」 教職員 (78→74)	【事務】高額な修繕等は県教委教育施設課へ要望を続ける。校内で対応可能なものは令達予算の範囲内で優先順位を付けて執行していく。 【総務】図書館報を月1発行する等、利用促進に努めた。蔵書検索アプリ導入で、館外からも検索も可能となり、利便性を高めた。更に小論文参考図書も紐づけ検索できるようにし、学習センターとしての機能を高めたい。 【魅力化】事務室と連携を密に図り、年度当初から計画的かつ柔軟な予算執行に努めたい。	・生徒も減少し、限られたお金の中で今後どのように対応されるのか、PTAや同窓会、奥出雲町などに働きかけて出してもらうのか。考えて欲しい。
地域から信頼され期待される学校づくりのための情報発信・情報交換	○情報発信の迅速化 (総務・魅力化)	保護者 (84→86)	【魅力化】来年度も定期的かつ迅速な情報発信に努めたい。 【総務】学校行事をはじめ特色ある授業や部活動の活躍などについて「広報奥出雲」に掲載し、地域に発信することができた。引き続き内容の充実を図りたい。	・働き方改革について、令和11年度までにすべての教員が時間外勤務30時間以内を達成するために、土日の部活動の時間や地域指導者確保の問題など課題は山積みだが、ぜひ実施してほしい。
	○保護者や地域との連携の推進 (総務)	「保護者との連携」 保護者 (78→90)	【総務】稲穂祭のテイクアウト祭りや広報誌の発行で、地域や保護者の方にご協力をいただいた。スクールメールを通じての連絡や情報提供が定着しつつある。配信の適時性を高めていきたい。	・国スポに向けて、ホッケー場の芝の張替次期やホッケーの町奥出雲町ということで一人が毎月寄付をするなど考えていく必要があるのではないかと。
	○中学生へのアピール (総務・魅力化)		【魅力化】来年度も、個別説明会、みらい留学フェス、中学校主催高校説明会など様々な中学生向け説明会の場で、丁寧に対応し本校の魅力伝えていきたい。 【総務】オープンハイスクールを夏と秋の2回行っている。実施時期に応じ、参加者のニーズに丁寧に対応することができた。2回実施を継続していきたい。	
	○「入学してよかった」という思いの涵養	生徒 (93→96) 保護者 (91→92) 教職員 (100→91)	すべてで90%以上を達成している。引き続き魅力的な横田高校を目指し教育活動を進めていきたい。	引き続き自己肯定感を高め、入学してよかったと思える教育活動を実施してほしい。

凡例 アンケートの評価 A:目標達成(肯定的割合90%以上) B:目標ほぼ達成(80%~89%) C:目標達成までもう一歩(70%~79%) D:目標達成に至らず(69%以下)